

南ア月報  
(2019年4月)

【内政】

- 大統領就任式典の開催日及び開催場所の発表

【外政】

- ラマポーザ大統領のエジプト訪問

【経済】

<経済指標>

- 消費者物価指数 (CPI)
- 為替レート
- 製造業生産高
- 鉱業生産高
- 自動車販売台数

<出来事>

- 日産南アが2020年からナバラ (NAVARA) の製造開始
- 燃料の高騰

【警備】

- 総選挙 (国民議会選挙及び州議会選挙) に向けた抗議活動の活発化

## 1 内政

### ●大統領就任式典の開催日及び開催場所の発表

13日、南ア大統領府は、大統領就任式典を「アフリカ・デー」である5月25日に、従来就任式が執り行われていたユニオンビルディングではなく、プレトリア市内のロフトス・スタジアム（Loftus Versfeld Stadium）にて執り行う旨発表した。

## 2 外政

### ●ラマポーザ大統領のエジプト訪問

22日、ラマポーザ大統領は、AU（アフリカ連合）トロイカ会合に出席するため、エジプトを訪問し、シスル国際関係協力大臣他が同行した。同会合はAUトロイカの議長であるエルシーシ・エジプト大統領により緊急に招集され、スーダン及びリビアにおける政治と安全保障に関する協議が行われた。

## 3 経済

### <経済指標>

#### ●消費者物価指数（CPI）

3月の消費者物価指数（CPI）は、前月から0.4%増の4.5%に上昇。物価は、前月から平均して0.8%増となった。（南ア統計局、4月17日）

#### ●為替レート

2019年4月30日付（南ア準備銀行）

7.7676 円/ランド

14.3319 ランド/米ドル

16.0553 ランド/ユーロ

#### ●製造業生産高

2月の製造業は、前年同月比0.6%増。主なプラス要因は、食品・飲料製品で3.2%増、石油、化学製品、ゴム及びプラスチック製品で2.9%増。季節調整後生産高は、前月比1.8%減、過去3ヶ月間では、前期比0.6%減。製造業10部門中、6部門で製造減を記録した。（南ア統計局、4月11日）

#### ●鉱業生産高

2月の鉱業生産高は、前年同月比7.5%減。主なマイナス要因は、ダイヤモンドで48.3%減、金で20.6%減、鉄鉱石で20.7%減、他方、プラス要因はPGMsでの17.8%増。季節調整後生産高は、前月比1.5%減となり、過去3ヶ月間の前期比は5.0%減。主なマイナス要因はダイヤモンド及び金でそれぞれ33.1%減、9.7%減。（南ア統計局、4月11日）

## ●自動車販売台数

4月の自動車販売台数は、前月まで続いていた販売不振から一転し、国内外の販売台数が増加。特に、輸出販売台数で前年同月比53.8%増を記録。国内市場での販売台数は、3,6794台となり、そのうち、86.8%をディーラー業界、6.5%をレンタカー業界が占めた。(南ア自動車工業界、5月2日)

## <出来事>

### ●日産南アが2020年からナバラ (NAVARA) の製造開始

10日、日産南アはラマポーザ大統領、デービス貿易産業大臣及び丸山駐南ア日本国大使らを招き、ナバラの製造開始に関する記念式典を開催。今般の新規投資によって、1,200人の雇用が創出される見込み。総額は合計30億ランドに及び、現地調達率の増加も期待されている。

### ●燃料の高騰

29日、エネルギー省参加の中央エネルギー基金 (Central Energy Fund) は、ガソリン代各種の値上げを発表。レギュラーガソリン1リットルあたり54セント増額のR16.67となり、昨年10月に1リットル当たりR17.08を記録して以来の高値。本決定の背景には、世界の原油高騰及びランド安が影響している模様。(ビジネスデイ電子版、4月29日)

## 4 警備

### ●総選挙 (国民議会選挙及び州議会選挙) に向けた抗議活動の活発化

4月に入って、生活環境の改善や雇用創出等を訴える抗議活動がタウンシップ (旧黒人居住地域) を中心に活発化し、様々な規模の抗議活動が各地で発生した。3日、8日にはヨハネスブルグ市アレクサンドラ地区の住民が道路を封鎖したり、タイヤに火を付けたりして抗議活動を行い、その後、一部参加者がサントン地区まで行進して陳情文書をヨハネスブルグ市へ提出した。サントン地区への行進は警察による規制の下に概ね平穏に行われたが、その間の道路交通が混乱した。

総選挙に向けて抗議活動が活発化することは通例であり、総選挙までは特に注意を要する。